



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東
 コード番号 6187 URL http://litalico.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻 高宏 TEL 03(5704)7355
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,686	15.9	805	74.0	682	48.1	411	△14.6
2020年3月期第2四半期	6,634	10.1	462	△31.7	460	△32.4	482	9.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 411百万円 (△14.1%) 2020年3月期第2四半期 479百万円 (9.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.34	23.09
2020年3月期第2四半期	27.48	27.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,277	4,192	45.0
2020年3月期	9,831	3,757	38.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,173百万円 2020年3月期 3,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	11.8	1,400	42.4	1,150	17.6	600	△29.2	33.99

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2020年11月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	17,650,100株	2020年3月期	17,597,400株
2021年3月期2Q	229株	2020年3月期	159株
2021年3月期2Q	17,646,401株	2020年3月期2Q	17,561,335株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位:千円)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	2021年3月期 第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	増減額	増減率
売上高	6,634,157	7,686,131	+1,051,973	+15.9%
営業利益	462,822	805,424	+342,602	+74.0%
経常利益	460,807	682,278	+221,470	+48.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	482,560	411,923	△70,637	△14.6%

(単位:千円)

セグメント別業績		2020年3月期 第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	2021年3月期 第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	増減額	増減率
LITALICO ワークス 事業	売上高	3,198,160	3,778,342	+580,181	+18.1%
	利益	1,094,533	1,426,889	+332,356	+30.4%
LITALICO ジュニア 事業	売上高	2,822,771	3,072,627	+249,856	+8.9%
	利益	578,872	503,124	△75,747	△13.1%
その他	売上高	613,225	835,161	+221,936	+36.2%
	利益	△230,058	△163,314	+66,743	—

当社グループは「障害のない社会をつくる」というビジョンのもと、2005年の設立時より障害福祉領域において事業を展開してまいりました。現在全国200拠点以上で就労や学びを支援するサービスを提供しております。さらに、これらの施設運営で培ってきたノウハウを活用し、障害福祉領域におけるインターネットプラットフォーム事業等を行っています。自社運営の施設サービスとインターネットプラットフォーム事業を組み合わせることで、より高品質のサービスをより多くの方々へ提供し、ビジョンの実現を目指しております。

当社グループは当事者及び家族向け直接支援のサービスとしてLITALICOワークス事業、LITALICOジュニア事業、LITALICOワンダー事業、LITALICOライフ事業の4事業を、また施設や従事者向けのインターネットプラットフォーム事業としてLITALICO発達ナビ事業、LITALICO仕事ナビ事業、LITALICOキャリア事業の3事業を運営しております。

LITALICOワークス事業は働くことに障害のある方への就労支援サービスで、PCスキルや履歴書添削など職業訓練や企業の人事担当者との調整等を行います。また、就職した方の職場定着をサポートするサービスも提供しています。1988年に1.6%で設定された法定雇用率は段階的に引き上げられ、2021年3月末には2.3%への引き上げが予定されています。また、2018年に障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わる等、障害者雇用における社会的要請は年々強まっております。しかしながら、2019年における法定雇用率達成企業の割合は48.0%と半数を割り込んでおり、当社の就労支援サービスの拡大余地は引き続き大きいと考えられます。

LITALICOジュニア事業は子ども一人ひとりの個性に合わせた学びを提供する幼児教室・学習教室で、言語発達における支援や机上課題、ソーシャルスキルトレーニングやペアレントトレーニング等を提供しています。また、小学校や幼稚園等に訪問し直接的・間接的にサポートするサービスも提供しています。少子化の中において、全国の小・中・高等学校における通常学級に在籍しながら必要に応じて別室等で授業を受ける「通級指導」の対象者は継続的に増加している等、発達障害に関する社会的認知の広がり等から一人ひとりの個性に合わせた教育機会を提供する当社サービスの必要性は高まっていると考えられます。

LITALICOワンダー事業はテクノロジーを活かしたものづくりを通して、子どもの個性に合わせ、創造力を育む学びの場を提供するサービスで、プログラミングやロボット製作等を教室及びオンラインで提供しています。当社の持つ一人ひとりの個性に合わせるヒューマンサービスのノウハウを活かし、個々人に合わせたサービス提供ができることが特色です。プログラミング教育の必修化等があり、需要は拡大しています。

LITALICOライフ事業は自分らしい人生を歩んでいけるよう、一人ひとりちがう興味や課題に合わせた情報提供やライフプランの設計を支援するサービスです。これまでに多くのご家族の相談に応じてきた知見を活かし、お子さまの進路や就職、老後資金等の将来設計について等の情報提供を行っています。

LITALICO発達ナビ事業は、発達が気になる子どもを育てるご家族が必要な情報を共有するプラットフォーム「LITALICO発達ナビ」を運営しています。さらに、子どもの育ちを支える発達支援施設向けに集客や運営・経営支援、人材育成等のサービスを、またオンラインで当事者家族向けに相談サービス「発達ナビPLUS」を提供しています。

LITALICO仕事ナビ事業は働くことに障害のある人が自分に合った仕事や就労支援サービスを探せる就職情報サイト「LITALICO仕事ナビ」を運営しています。また、障害のある方に対する就労支援施設向けの集客支援や障害者採用を行う企業への人材紹介等を行っています。

LITALICOキャリア事業は障害福祉業界で働く人の転職サービス及び福祉施設の採用支援サービスを提供しています。福祉施設で働く従事者数は年々増加しており、福祉施設や従事者のマッチングサービスへの需要も今後高まることが予想されます。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、感染症対策として衛生管理を徹底した上で対面でのサービス提供を継続しつつ、オンラインの活用も進めました。当第2四半期連結累計期間の新規拠点開設数は、就労移行支援事業4拠点、児童発達支援事業7拠点、学習教室事業1拠点となりました。なお、セグメントごとの業績は以下の通りになります。

<LITALICOワークス事業>

LITALICOワークス事業については、就職者の増加により既存拠点の報酬単価が増加し、新規開設拠点の集客も順調に推移しました。また、オンライン支援も拡大したことにより、収益性が向上しております。結果として、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,778,342千円（前年同四半期比18.1%増）、セグメント利益は1,426,889千円（前年同四半期比30.4%増）となりました。

<LITALICOジュニア事業>

LITALICOジュニア事業については、既存拠点の利用率が引き続き高い水準で推移し、新規開設拠点の集客も順調に推移しました。一方で、第1四半期連結会計期間を中心に学校の休校により保育所等訪問支援の実施が困難であったこと、学習教室事業における新規問い合わせの減少およびコロナ禍で業務を行う社員への感謝金の支払いなど新型コロナウイルス感染症による一時的な影響がありました。結果として、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,072,627千円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益は503,124千円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

<その他>

LITALICOワンダー事業については、新規問い合わせの減少など新型コロナウイルス感染症による影響はありつつも、オンラインコースの立ち上げが順調に推移しております。プラットフォーム事業はSaaS型プロダクトを中心に、順調に契約施設数を増やし、LITALICO発達ナビ事業については単月黒字化を達成するなど、先行投資を継続しながらも赤字幅を縮小しております。LITALICOライフ事業については、オンラインでの契約が可能になるなど規制緩和を受けて、全国を対象にセミナーを行い、サービス提供地域を拡大するなど引き続き投資を行っております。結果として、当第2四半期連結累計期間の売上高は835,161千円（前年同四半期比36.2%増）、セグメント利益は△163,314千円（前年同四半期比66,743千円改善）となりました。

以上の結果、営業利益は805,424千円（前年同四半期比74.0%増）となりました。

経常利益は、株式会社Olive Unionへの持分法投資損失を120,867千円としていることから、682,278千円（前年同四半期比48.1%増）となりました。前年同四半期である2020年3月期第2四半期連結累計期間にConobie事業の譲渡益が240,600千円あったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては411,923千円（前年同四半期比14.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、9,277,965千円となりました。業容拡大による売掛金の増加306,321千円、拠点開設等による有形固定資産の増加242,329千円等があったものの、税金の支払や借入金の返済等により現金及び預金が1,169,896千円減少し、前連結会計年度末と比較して553,248千円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して988,931千円減少し、5,085,057千円となりました。これは主に、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の減少521,900千円、短期借入金の減少450,000千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して435,683千円増加し、4,192,907千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上にとともなう利益剰余金の増加411,923千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	15,300	1,200	920	440	24.93
今回修正予想 (B)	15,500	1,400	1,150	600	33.99
増減額 (B-A)	+200	+200	+230	+160	—
増減率	+1.3%	+16.6%	+25.0%	+36.3%	—
(参考) 2020年3月期実績	13,867	982	978	847	48.25

当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症による一時的な影響を受けたものの、当初の予定を上回って業績が進捗しております。

売上高は既存事業が順調に推移したことに加えて、オンライン支援の本格化等により見込みを上回って推移しました。利益については、新型コロナウイルス感染症対策による経費の増加はあったものの、順調な売上進捗と営業効率改善等により、当初の予想を上回る結果となりました。

以上の状況を受けて、2021年3月期の通期連結業績予想を上方修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,682,265	1,512,369
売掛金	2,376,211	2,682,533
たな卸資産	5,984	7,912
前払費用	158,140	231,285
その他	48,669	63,120
貸倒引当金	△4,508	△4,933
流動資産合計	5,266,763	4,492,287
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,682,424	1,855,371
工具、器具及び備品	1,249,240	1,452,690
減価償却累計額	△986,508	△1,120,575
有形固定資産合計	1,945,156	2,187,485
無形固定資産		
ソフトウェア	394,333	463,312
ソフトウェア仮勘定	103,276	144,654
その他	39,480	40,759
無形固定資産合計	537,090	648,726
投資その他の資産		
投資有価証券	1,333,749	1,212,881
敷金及び保証金	607,570	603,060
繰延税金資産	93,752	93,752
その他	47,132	39,770
投資その他の資産合計	2,082,204	1,949,465
固定資産合計	4,564,450	4,785,677
資産合計	9,831,213	9,277,965

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	450,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,043,800	1,028,800
リース債務	9,123	8,908
未払金	320,035	253,839
未払費用	654,484	688,566
未払法人税等	330,833	325,300
預り金	191,561	209,393
その他	41,171	48,591
流動負債合計	3,041,009	2,563,400
固定負債		
長期借入金	3,010,618	2,503,718
リース債務	22,361	17,939
固定負債合計	3,032,979	2,521,657
負債合計	6,073,989	5,085,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	365,817	375,849
資本剰余金	324,817	334,849
利益剰余金	3,051,358	3,463,281
自己株式	△357	△514
株主資本合計	3,741,635	4,173,465
新株予約権	15,588	19,442
純資産合計	3,757,224	4,192,907
負債純資産合計	9,831,213	9,277,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,634,157	7,686,131
売上原価	4,151,815	4,915,111
売上総利益	2,482,341	2,771,019
販売費及び一般管理費	2,019,519	1,965,595
営業利益	462,822	805,424
営業外収益		
受取利息	4,534	10
助成金収入	60	1,572
違約金収入	6,642	3,182
その他	3,710	822
営業外収益合計	14,946	5,587
営業外費用		
支払利息	3,461	6,612
為替差損	11,395	—
持分法による投資損失	—	120,867
その他	2,104	1,253
営業外費用合計	16,961	128,734
経常利益	460,807	682,278
特別利益		
事業譲渡益	240,600	—
新株予約権戻入益	291	160
特別利益合計	240,892	160
特別損失		
固定資産除却損	1,303	2,606
特別損失合計	1,303	2,606
税金等調整前四半期純利益	700,396	679,832
法人税、住民税及び事業税	217,835	267,909
法人税等合計	217,835	267,909
四半期純利益	482,560	411,923
親会社株主に帰属する四半期純利益	482,560	411,923

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	482,560	411,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,809	—
その他の包括利益合計	△2,809	—
四半期包括利益	479,750	411,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	479,750	411,923

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	700,396	679,832
減価償却費	190,275	245,287
株式報酬費用	4,515	5,119
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,260	424
受取利息及び受取配当金	△4,534	△10
支払利息	3,461	6,612
持分法による投資損益(△は益)	—	120,867
為替差損益(△は益)	11,395	—
事業譲渡損益(△は益)	△240,600	—
新株予約権戻入益	△291	△160
固定資産除却損	1,303	2,606
売上債権の増減額(△は増加)	△231,692	△306,321
未払金の増減額(△は減少)	△52,628	△84,766
未払費用の増減額(△は減少)	△26,307	34,106
その他	△123,308	24,330
小計	233,244	727,927
利息及び配当金の受取額	4,534	10
利息の支払額	△3,486	△6,516
法人税等の支払額	△235,667	△331,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,374	390,187
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△96	—
有形固定資産の取得による支出	△242,341	△326,101
事業譲渡による収入	260,000	—
貸付けによる支出	△306,445	—
無形固定資産の取得による支出	△127,854	△266,690
敷金及び保証金の差入による支出	△19,834	△20,366
長期前払費用の取得による支出	△6,212	△3,425
その他	3,829	14,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438,954	△602,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	△450,000
長期借入金の返済による支出	△341,953	△521,900
リース債務の返済による支出	△5,646	△4,637
長期未払金の返済による支出	△2,495	—
ストックオプションの行使による収入	—	18,958
自己株式の取得による支出	—	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400,095	△957,736
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△840,425	△1,169,896
現金及び現金同等物の期首残高	1,389,171	2,682,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	548,746	1,512,369

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

株式会社LITALICOメディア&ソリューションズは、2020年4月1日付をもって新設分割により新たに設立され当社子会社となったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,198,160	2,822,771	6,020,931	613,225	6,634,157
セグメント利益又は損失(△)	1,094,533	578,872	1,673,405	△230,058	1,443,347

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、LITALICO発達ナビ事業、LITALICO仕事ナビ事業、LITALICOキャリア事業、LITALICOライフプランニング事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,673,405
「その他」の区分の損失	△230,058
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△980,525
四半期連結損益計算書の営業利益	462,822

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,778,342	3,072,627	6,850,969	835,161	7,686,131
セグメント利益又は損失(△)	1,426,889	503,124	1,930,014	△163,314	1,766,699

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、LITALICO発達ナビ事業、LITALICO仕事ナビ事業、LITALICOキャリア事業、LITALICOライフ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,930,014
「その他」の区分の損失	△163,314
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△961,275
四半期連結損益計算書の営業利益	805,424

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。